

業コンソーシアムが実施する野菜広域集出荷施設の施設整備事業に対し、国・県補助金に加えて、受益地域市町の1つとして本市も補助を行い、生産者の負担軽減と生産体制の維持を図ろうとするもの。

問 本計画はいつ頃から検討されていたものなのか。また、本施設は松前町に新設されるとのことであるが、具体的な場所や面積を教えてください。

答 JA愛媛たいきへの聞き取りによると、数年前から各JA選果施設の老朽化が問題となっている中、昨年1月末に全農えひめより今回の計画について相談があったと聞いている。本市には、昨年10月末に全農えひめとJA愛媛たいきから計画及び支援についての相談があった。建設予定地はJR南伊予駅の北側にある鶴吉地区となっており、敷地面積約2ヘクタールのうち、西側の約1ヘクタールに今回の集出荷場を建設する予定と聞いている。

問 具体的な出荷先はどの地域を想定しているのか。

答 松山中央卸売市場のほか、京都、大阪、神戸の関西市場が主な出荷先となる。それ以外の出荷先についても現在検討していると聞いている。

問 受益農家の負担分について、概要を教えてください。

答 受益農家の負担分については、本施設建設費の負担分のほか、選果料や今後の施設修繕を含む維持管理費用を合わせ、手数料として徴収される。手数料は集荷量1キロ当たり30円半ば程度で計画されており、7年間はこの額を継続し、生産量が減少することで不足分が生じた場合には、全農えひめが負担すると聞いている。

◆買物弱者対策移動販売支援事業について

説明 身近な商店の減少により、食料品や日用雑貨品等の買物が困難な状況になっている方々への買物機会の確保を図るため、事業者が移動販売により日用生活物資の購入支援を行うために必要な、車両購入等に要する経費の一部を補助しようとするもの。

問 売り上げの少ない地域に対しては、将来的に移動販売が来てももらえなくなるおそれはないのか。

答 既存の移動販売事業者は、買物が困難な地域はおおむね巡回をしており、今回の事業者も中心部だけを想定しているわけではないと聞いている。

問 新規事業者の巡回予定地域を教えてください。

答 肱川、河辺地域も視野に入れてっていると聞いている。

る。また、肱北の一部地域からは、買物していた店舗がなくなり困っているという声をいただいております。今後提出される事業計画等を踏まえ、市からも地域の実情をお伝えし、調整をしていきたいと考えています。

議 会 日 誌

《3月》

- 25日 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会
- 27日 一部事務組合議会定例会(3議会)

《4月》

- 10日 四万十市制施行20周年記念式典(四万十市)
- 14日 愛媛県市議会議長会春季定期総会(東温市)
- 23~24日 四国市議会議長会定期総会(徳島市)
- 23~25日 肱川流域治水対策特別委員会行政視察(大月町・日高村・倉敷市)

《5月》

- 7日 議会運営委員会
- //日 令和7年第2回臨時会
- 8日 全国自治体病院経営都市議会協議会理事会(東京都)
- //日 全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会(東京都)
- 11日 八幡浜市制施行20周年記念式典(八幡浜市)
- 14日 福岡県柳川市議会行政視察
- 18日 肱川総合水防演習
- 19日 上須戒コミュニティセンター起工式
- 20日 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 23日 議会運営委員会
- 28日 愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会理事会(伊予市)
- //日 愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会総会(伊予市)
- 30日 新屋形船安全祈願祭

《6月》

- 1日 うかい開き

編集後記

本号3ページに記載のとおり、令和7年9月7日(日曜日)に大洲市議会議員選挙が実施されます。市民の皆様にとって、最も身近で重要な選挙です。期日前投票も実施しますので、市民の皆様の投票をお願いいたします。